

第1回 浜田市石見神楽大阪・関西万博公演実行委員会議事録

1 開催概要

日 時 令和6年10月11日（金）18：30～

場 所 浜田市役所4階 講堂A・B・C

出席者 別紙名簿のとおり

2 議事次第

1. 浜田市石見神楽大阪・関西万博公演実行委員規約（案）について
2. 協議事項
 - (1) 事業計画
 - (2) 収支予算（概算）
 - (3) その他

3 議事録

1. 浜田市石見神楽大阪・関西万博公演実行委員会規約（案）について
事務局より、資料に基づき説明。
承認。

浜田市石見神楽大阪・関西万博公演実行委員会会長あいさつ

久保田会長	<p>ただいま実行委員会の会長となりました、浜田市長の久保田です。本日は大変お忙しい中、ご出席をいただきありがとうございました。</p> <p>大阪・関西万博での石見神楽公演ですが、ご案内のように約50年前に、大阪万博で石見神楽を舞い、大蛇8頭プラス周辺に5頭、13頭で上演されました。これが契機となって、今日の石見神楽の隆盛に繋がったというのをお聞きしているところであります。そのような中で神楽団体の皆さん方やいろんな方々から、今度大阪・関西万博のときにはぜひ神楽を舞いたいという声をたくさんいただきました。</p> <p>大阪・関西万博が開催されることが決まったのが約3年前かと思いますが、その間、どこにどのようにお願いをすれば、石見神楽を上演できるだろうかということで</p>
-------	---

久保田会長

本当に手探り状態のなか、万博首長連合に参加をしたり、国の方にもヒアリングに伺ったりといろいろな手を尽くしまして、本当に手探りの状況でした。

そのような状況の中で、万博の主催者である日本国際博覧会協会が募集する一般催事というものがあり、そこに、手を挙げました。全国から多くの手が挙がったということですが、見事「石見神楽」が内定を頂きました。

日程は後程詳しく話があると思いますが、来年の6月19日と20日の2日間ということで、会場は、EXPOホールということで、開会式や閉会式を行う、メインホールで、約1900人の方が収容できる一番大きなホールです。ここを2日間使っても良いという内定を頂いたころでございます。

大変うれしく思うと同時に皆さん方と一緒にあってこの浜田市で受け継がれる「石見神楽」或いは「石見神楽を支える伝統的のものづくり文化」を国内外の方に発信する非常に良い機会ではないかと思っています。

今回、2025年大阪・関西万博出演を契機に、石見神楽のさらなる発展につなげていきたいということで、本日この実行委員会を立ち上げ、皆さん方と一緒に取り組んで参りたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

2. 協議事項

(1) 事業計画

事務局より、資料に基づき説明。

質疑・応答

川神副会長

副会長の任に就きました、川神です。

よろしくお願いします。

いよいよ、このような具体的な活動として見えてきたということで、大変我々もわくわくします。浜田の神楽が世界を席巻できるかと大変楽しみしております。

	<p>そこで、少し事業計画について聞いておきたいことがあります。プロポーザル方式でやりますが、業者の選定など、どのような提案をして、それを採用するか、その辺の決定をするのは、例えば、行政がやる、もしかすると選定委員会がある、もしくは実行委員会等々で、その辺の話を聞くなど、決定方法のいろいろな受け皿があると思いますが、そのあたりいかがですか。</p>
久保田会長	<p>はい。</p>
石見神楽係長	<p>事務局お願いします。</p>
	<p>はい。</p>
	<p>プロポーザルにつきましては原則庁舎内の職員でという形になっておりまして、今回は職員でプロポーザルの選定を行いたいと思います。</p>
	<p>ただ、今回のプロポーザル内容につきましては、具体的な演出を決めるものではなく、事業者が当日運営できるかどうかや、そういった企画の能力があるかどうか、経験が豊富であるかどうかで判断するものであります。</p>
	<p>仕様書の中には、演出や展示等につきましては、神楽団体とのヒアリング、相談を行った上で決定するという形で仕様書には記載をしておりますので、この事業者選定ができた段階で演出が固まっているということは決してございませんので、そのあたりはご安心いただけたらと思って、あくまでも皆様と一緒に考えていきたいと思っております。</p>
川神副会長	<p>それを聞いて安心していますが、せっかく実行委員会を作っていますので、各協議会の代表も出掛けていて、今までにないオール浜田の中で取り組みをするということで、とても評価できると思います。</p>
	<p>そういう中で、今のようなことが実行委員会の外でいろいろ行われて報告だけがあるという、今までのような形だけではあんまり面白くない。せっかく実行委員会を作るのであれば、その中でしっかり揉めるような提案の仕方をして欲しいというのがまず1点であります。</p>

	<p>続けていいですか。</p>
久保田会長	<p>はい。</p> <p>今のことできちんと関連するので、私の方からもその演出家の招聘及び内容検討会、12月から2月って書いてありますけど、これも最初のプロポーザルの運営事業者の選定の中に入っているということか。</p>
石見神楽係長	<p>はい。</p> <p>プロポーザルの仕様書の中に演出等の内容につきましては、神楽団体の皆さんとヒアリング相談をしながら決定するものと書いておりますので、プロポーザルで事業者が決まった段階で演出が決まっているものではありません。</p> <p>従って11月末までのところで、企画運営事業者を選定いたしまして、その企画運営事業者が招聘する演出家と一緒に、12月から2月の間に、演出等の内容を検討して参りたいという意味合いでございます。</p>
久保田会長	<p>ごめんなさい。</p> <p>今のところですけれども、その演出家というのが1つのポイントになると思うが、そのプロポーザルの中に、演出家のAさんを呼ぶとかっていうのは入っているかという質問です。</p>
石見神楽係長	<p>失礼しました。</p> <p>個別の名前を挙げておりませんので、演出家等の専門家を招聘することということにしております。</p>
久保田会長	<p>そうするとプロポーザルで決まった事業者さんの責任において演出家を連れてくるということですか。</p>
石見神楽係長	<p>そうなります。</p> <p>提案型ですので、おそらくこういった実績のある演出家を招聘したいと思う。というような提案がなされるのではないかなと思っております。</p>
久保田会長	<p>一応、AさんならAさんを予定しますぐらいのことは、入った方がわかりやすいでしょうね。</p> <p>それはちょっとどういう提案があるかわかんないけ</p>

	<p>どね。</p> <p>はい。</p> <p>いずれにしましても演出家はその事業者さんが連れてこられるという理解でよろしいですか。</p> <p>はい。</p> <p>それにこだわっているわけではないが、やはりこの大会がより盛り上がる、盛り上がらないというのは、演出家とか、そのような企画に、かかっています。</p> <p>我々は浜田市の神楽を世界に発信する、全く他のものと比べても遜色ないと思っている。そこは心配していないが、それをいかにまとめて演出していくかというのはやっぱりそういったような、力を借りるんいたら、最大限神楽関係者の意見を吸い上げる。さらには、その会社自体が、結構文化と神楽に精通しているそういったような方々が、取り仕切っていただければ大変安心だなと思いますので、この決定については、ある意味で慎重に行っていただきたいというふうに思っています。</p> <p>2点目ですが、この中に出てきているいろんな原案について、大蛇と別の演目を組み合わせて複数回やる、すでにおっしゃるワーキンググループが動いてワーキンググループの中で、ある程度ここに出てきているようなものは、了解をして、それらの意見もある程度反映をされたものが、基本の骨格になっているという理解でいいですか。</p> <p>はい。</p> <p>ワーキンググループ準備会という形で開催をさせていただきまして、今日の資料につきましては一通りご説明をした上で、一回この内容で実行委員会に諮ってみようということでございます。</p> <p>ここで今後のスケジュールが、8ページの2番に書いてありますがざっくりとした案ですので、できればもう少し詳細にわかるようなタイムテーブルが示していただければ、何月にどの程度まで進捗をする必要があるの</p>
石見神楽係長	
川神副会長	

か、ここではどのような練習を開始するという大まかなイメージとして、ざっくりですが、もう少し明示しやすいような、当日までのタイムテーブルが示していただければ、皆さんより当日までのイメージが湧くと思うんですが、その辺りはいかがでしょうか。

石見神楽係長

はい。

ご指摘の通りざっくりと過ぎているというのもそうだと思いますが、今現時点で演出の内容も決まっていない中で、なかなか書ききれなかったというところがあります。ワーキンググループ準備会の話の中では、12月末から1月ぐらいのところで、大まかな演出内容が決まれば、配役や人数というところも考えやすいというようなご意見はありましたので、今後もう少し、情報入ってきて、書けるところは積極的に詳しく書いていきたいと思いますので今日のところはこれでご理解いただけたらと思います。

川神副会長

今回、私も石見神楽振興議員連盟の立場で出ていますが、多くの周辺の協議会の、方々といろんなヒアリングをさしてもらい意見をいただいております。

今まではどうしても旧浜田市がどうも、一歩先んじていろんなことをやっているのではないかとか、全体の浜田市になったけど他の協議会等いろんな形の、その理由がどうなるかといういろんな話を聞きます。

そういう中で、去年は大阪の御堂筋ランウェイ、これも協議会複数で行っていますし、来年のこの大阪万博も今回の協議会で協力をしていただいてみんなでやろうというお話をあります。

私はですね、万博に行くことも大事ですけども、それ以上に、今ある協議会の仲間が大きな浜田市という大義の中で協力しながら、1つのものを行うというチャンスは、大事にして欲しいなど。万博の成功もそうですけど、その中でやっぱり練習も含めて、この5協議会が、できるだけ融和してから、万博までにいろいろな

	<p>ことが出来るようになれば、もっともっと神楽の力が外に出るといういいチャンスだなと思って、そういうところも、やっぱり事務局をやっていく中で一致結束して、大会成功に向けて欲しいという思いです。よろしくお願ひします。</p> <p>最後のところは一応事務局ではオール浜田市でということで、今日も各地域の神楽団体の代表の方々に来ていただいていますがそういう趣旨でございます。</p> <p>スケジュールの件でちょっと私も確認なんだけど、確認というより心配もあるのですが、間に合うかというのがあります。</p> <p>つまりこのスケジュール見ていると、11月に事業者選定で2月までに、演出家を呼んで内容を検討。それから本番が6月で4ヶ月しかない。だからこれちょっともうちょっと早めて、やらないと間に合うかなという。国立劇場でやったときにも、あれ半年ぐらい前だったんですか。</p> <p>はい。</p> <p>コロナの中でやったので、あのときよりやりやすいかもしれませんけど、いずれにしましても、ちょっと時間的に先ほどのもっと細かいスケジュールとご指摘あったけど、今の段階ではやむを得ないと思いますけども、ちゃんとできるように、150人の方も参加するような、オール浜田の神楽団体をやるのであれば、結構練習とか何かと大変かなと思います。</p> <p>どう思われますかね。結構これタイトですよね。時間が結構。今日のところはやむを得ないと思いますが、そうすると早めようと思ったら、その事業者の選定とその演出家との打ち合わせは、もう年明け早々からやるぐらいのことをやらんと、と思いますがいかがですか。</p> <p>はい。</p> <p>まず、万博の内定が決定したのが6月、決定は今日ですけれども内定というのが、6月ぐらいだったというこ</p>
久保田会長	
石見神楽係長 久保田会長	

	とで、スケジュール上も 9 月補正をして、10 月からプロポーザルをしてこのプロポーザル 2 ヶ月かかると要項で決まりもあります。言われることはわかりますので、できるだけ早く進められるように努力しますので、ご理解いただけたらと思います。
久保田会長	もちろんスケジュールがタイトだということはワーキンググループでもご意見出ておりますので、何とかそのあたりは皆さんのご協力をいただきながら、成功に向けてやっていきたいと思いますので、ご理解いただきますようよろしくお願ひします。
石見神楽係長	お金のこともありますので、これ 12 月補正の予定ですかね。
久保田会長	9 月補正でもうすでに、はい。
石見神楽係長	9 月補正一部は出ているけどね、この全体分は、残りは、12 月残りというのはどこでしょう。
久保田会長	まず 9 月補正では、令和 6 年度の補正と令和 7 年度の業務委託、この部分 10 ページ、1483 万円の部分の債務負担をとっています。
石見神楽係長	実行委員会の令和 7 年度の予算と、万博の会場使用料につきましては、今後皆さんのご意見を伺いながら、当初予算で要求をしたいというふうに思っております。
久保田会長	はい。
石見神楽係長	予算は予算として並行して、実際練習だとか打ち合わせというのはちょっと何ていうかな。臨機応変に行っているのか。ちょっとそこら辺やらんと間に合わないかなという。
久保田会長	はい。
	従って、令和 6 年度に練習会場等の費用も予算要求で取っておりますので、今年度から早く決まれば、早めに練習ができるという予算はとっていますのでそこでちょっとご理解いただけたらというふうに思います。
	それから川神副議長からあった。1 番目の質問で事業者の選定を実行委員会も諮ってというプロセスを入れ

	るとすると、どうなんですか。
石見神楽係長	そうなりますと、皆様の日程を合わせて、プレゼンの日等も含めていくことになるともうちょっと遅くなると思います。
久保田会長	どうしましょう。
川神副会長	できるだけ早く決めるというのが、大前提でしうけれども、いい加減なことはできないので、やるべきことをきちんとやった上で、大阪万博に向けて早めに進めるとなると、やっぱり知恵をちょっと使わないところまでいくとやっぱり市長が言うように、後々練習に響くのではないかと。
石見神楽係長	せっかく皆さんと一緒にになって、一致団結してやろうとしたときには、やっぱり何ていうか、どんどん短くなるし、その辺が、もう、満を持して練習に入れると、いう状況を、いつまでにつくれるかということですね。
	はい。
	このプロポーザル要項の最短の最短を通って今います。
	9月30日に補正予算の成立をしていただきまして、10月1日にプロポーザルの公募をし、要項上最短ルートで決めるという形で今、このかたちになっていますので、これ以上早く決めるということは、現状ルール上は不可能というふうに思います。
久保田会長	事業者の選定をしたら私どもも可能な限り早く皆さんと一緒に議論できるようにしますので、これを早めるということはちょっと不可能です。そこはご理解いただけたらなというふうに思います。
	ごめんなさい私が言いたかったのはそうじゃなくて、このスケジュールでいいんだけど、この最終決定は市の職員だけの会議で決めるのではなくて、この場を、もう1回年内に、12月とかなんかわからんけれども、今から日程調整して、実行委員会に任して、このプロポーザルを選びましたよってプロセスは、やつたらいいんじゃない

	かと思うんですけど、いかがですか。 できますか。
石見神楽係長	そうすると事業者の決定が12月ということで、そこから契約通してということになる。ということでしょうか。
川神副会長	何て言うかね、せっかく実行委員会の、作って、だったらワーキンググループというのは、具体的な計画のところで、とても大事な団体なんだけれども、往々にして実行委員会っていうのは承認団体って決めたことをしやんしやんで承認して「ああ、いいですよ」というような承認機関みたいなことに、結構いろんな団体がなっているんで、できれば、今回、市長が言うように、これから時間いろいろあるでしょうけども、実行委員会に参加している皆さんも、そのプロポーザルをどこをやるかというふうに関与できる機会はないかなということだと思うんですよね。
久保田会長	それをいつしろというのではなくて、だから、どうもそういうのがあったと。そう決まったと、これでよろしくお願ひしますとここに報告をされるのが常なんですけども。実行委員会のメンバーが、その後、業者というかそういうことをやるときに何らかの意見がいえるチャンスはないのかなというでちょっと私も少し発言しました。

	案の A という提案を採択したい。ただ、その数日以内に、なるべく早く、このもうあらかじめこの実行委員会を設定しといて、その中の選定委員会からここに説明してもらって、こういう理由で、A というプランを選びましたという、そのプロセスをやるっていうのは、そのぐらいだったらできなくはないんじゃないかな。
石見神楽係長	どうでしょう。
久保田会長	すいませんちょっとプロポーザルの要項上のルールと逸脱しますので、検討させてもらえますか。
川神副会長	いずれにしろ、副議長からの提案は、この実行委員会でそこ一番肝になるところだから、実行委員会は全く事後報告だけでいいのかなというところですよね。
久保田会長	そうですね。
石見神楽係長	皆さんができるふうにお考えかというのは、いろいろあるでしょうけど。それは可能な限りですね。
川神副会長	それちょっと考えてみてよ。そういうことができるのかどうか。
	改めて説明ですけれども、演出等につきましては皆様と一緒に決めますのでこのプロポーザルで、事業者が決まったからといって演出がそこで決まるわけでは、ありませんのでそこはご理解いただきたいと思うんですけど、ちょっと議論がかみ合ってないのかなと思ってます。
	ご心配されているのはおそらく事業者が、プロポーザルで事業者が決定したときにすでに演出が決まっているのではないかということを心配されているのだろうと思うのですけれども、それは決してありません。事業者が決定してその事業者が招聘する演出家とともに演出内容を決定するという形にしておりますので、そこはご理解いただけないかなというふうな思いがあります。
	だから、逆にそれで早急に決めて、その後にやっぱりこの実行委員会の中で、例えば決まった業者っていうか、そこが、その中の内容なり、自分たちの思いだとか、

	今からどうなる、そのときに意見を皆さんに言って、そこで次の段階のお話ができるということをやるんいたら、決まったものを、間髪入れず実行委員会を開いて、そこをしっかりと意見を、聴取するという、言われているそういういたような場を設けるという形でも、それは今のプロポーザルの性格上、やむを得んかなと思いますので、そのあと間を空けずに、この実行委員会を開いていただいて業者が考える内容とですね、自分たちが思うところのすり合わせを幾らかできる機会があれば、いいなと思います。
久保田会長	石見神楽係長の説明を私なりに理解すると、その事業者の選定は、役所の中の然るべきメンバーで決めたいとただし、その、事業者を選定したからといって、その演出家との打ち合わせとか等々がこれはまた別です。
石見神楽係長	そのときにはその実行委員会の、皆さんにも、こういったやり方でやりたいという、そういった、何ていうかな、すり合わせというか、そういうことをやりますよ。という理解でよろしいですか。
久保田会長	はい。 プロセスとしてはその通りです。 演出家と、まずワーキンググループで話をさせてもらってワーキンググループで叩いた案をこの実行委員会に出させていただいて、そこで実行委員会のご意見を伺いながら決めていくというプロセスです。
石見神楽係長	その場合には事業者を選定しとかないと、演出家も決まらないから話し合いもできませんということ。そうですね。
久保田会長	はい。 ということだったらもうやむを得ないという。
川神副会長	それはもうやむを得ないです。
久保田会長	ということでおろしゅうございますか。
川神副会長	皆さんの意見が確実に反映できるような仕組みを。
久保田会長	少なくとも演出家とのすり合わせというか、演出家の

	<p>考え方とか、或いはその決まった事業者の考え方とかいうのは、その決まった後でも聞く機会は、何らかの格好でちょっと考えてくれませんか。</p> <p>選定された後の話。</p>
石見神楽係長	<p>はい。選定されて、演出家を招聘して、演出家とワーキンググループでまず、案を作らさせていただいて、その案を持って、ここで議論をさせていただいて決定するというプロセスでよろしいということでしょうか。</p>
久保田会長	<p>それを踏まえてもう1回、スケジュールを前倒しにしないといけないということもあるんで、もうちょっと今の石見神楽係長の提案の意見も含めたスケジュールをもう1回示してくれた方がわかりやすいかなと思います。</p>
石見神楽係長	<p>具体的には例えば12月に、演出家とワーキンググループの会議を何回開いて、みたいなそういうイメージでしょうか。できる限り作らさせていただきます。</p>
久保田会長	<p>実務的にはちょっと調整してもらって。</p> <p>ワーキンググループでは各協議会のメンバーも入っているわけでしょ。</p>
石見神楽係長	<p>はい。</p> <p>5ページの規約に記載しておりますように、各連絡協議会から2名選出をいただいて、検討するという形になりました。</p>
久保田会長	<p>わかりました。</p> <p>限られた時間の中で進めないといけないので一応今の方針で、ということでよろしいですかね。</p>
委員	はい。

(2) 収支予算（概算）

事務局より、資料に基づき説明。

質疑・応答

久保田会長	ちょっと私の方から補足的に説明しますと、3年前に行いました国立劇場公演では事業費がざっくり2,000
-------	--

川神副会長

万円ぐらい、ところがあのときには入場料収入があったんですよ。今回は、入場料収入がないんです、取れないんです。万博に入るときに、なんぼだったっけ、7,000円弱だったかな。神楽見たからといってその人からお金とれないんですよ。それ、当たってもらったんですけども、これもう取れないということなんで、従って、何て言うんでしょうか。収入がないっていうのが大変辛いとこではあるんですけども。従って結構大きな金額にはなりますが、本当に50年に1回の大イベントなので、これぐらい、また警備の問題とかですね、それもこちらの方で手配しないといかんという条件がついていますので、これぐらいの費用がかかるという、ということで概算ですけども、そこで提案をしてもらってるところでございます。

いかがでしょうか。

ちなみに想定する財源はふるさと寄付で石見神楽。今、9億円近く、お金がありますので、石見神楽などをする、振興というか、それを使う予定かな。

ということで、何とか財源のめどは立っております。

予算も多額の税金を使うわけですから、ふるさと寄付もそうですけども、50年前、55年前ですかね、万博以降に石見神楽も注目を集めたと。それから半世紀、経つてですね。

再び新しい心身になって結束して、またその世界に情報発信をしようというところで、私はお金を使う、お金の価値とですね、それだけの価値はあるなというふうに思っています。

ただ、使って「やってよかったね」じゃなくて、それをまた契機に次の50年に向けて、浜田市が神楽振興をさらに市民の賛同を得ながら、神楽を大事になってくれるなというふうになっていくための投資だというふうに。そうなって欲しいと思ってますんで、それが非常に高い安いっていうのは、その以降の結果にかかっていま

	すので、ぜひ活きるお金を使えればいいなと思っています。
久保田会長	はい。 入場料収入が取れないもんですから、それとあと 150 人規模の人を送り込もうとするのでその、宿も結構値上がりをしてましてですね、結構膨らむということで、一応こういった予算を組んでおります。
委員	予算について、よろしゅうございますか。
久保田会長	ご質問ございませんか。
委員	はい。 この方向で進めるということでおろしゅうございますかね。
	はい。

(3) その他の事項

万博首長連合が主催する催事について
事務局より、資料に基づき説明。

質疑・応答

久保田会長	これは先ほどの予算と別枠だよね。
石見神楽係長	はい。 その通りです。
久保田会長	別の事業ということですよね。
石見神楽係長	はい。
久保田会長	今こう考えていますということでございますが、ご質問或いはご意見があれば、いかがでしょうか。
久保田会長	子供神楽をこの 3 日間出すというのは大人は 6 月の 19 か 20 日のときで、この 7 月の 3 日間はせいぜい 45 分ぐらいの時間しかもらえていない。
久保田会長	将来を担う子供たちに、こういう夢と希望を与えること、そういうことですね。
	よろしゅうございますか。
	ただ事務局が心配していますように子供神楽団を持っているところもあれば、そうでないところもあるし、

川神副会長

また、合同チームだったらどうしてやるのか等、いっぱい課題がありますが、そこの辺は、どうですか。

私も長年子ども神楽大会を仕切ってきた流れからいくと、まず、大人が関西万博の話をするときに、子どもたちからも僕らも出たいというような声が結構出ています。

それは、さっき市長が言われたように、やっぱり自分たちもやっぱりそういったところで舞いたい、より大きなところでやってみたい。

それはですね、神楽をやっている子供たちは、共通の願いでしょし、その経験がいざれは浜田市の後継者にも繋がるだろうなということで、可能な限り、この計画で、子供たちの未来が少し見えるようなチャンスを与えてあげたいなということをすごく思います。

ただ、課題とすると、合同っていうのはやむを得ないですけども、大蛇をやるときに、より広くみんなと一緒にできるかどうかとか、それと、各協議会がありますから、その協議会の方で、子供たちが当然居るので、その子供たちをどうやって拾い上げてやっていくかというような配慮が要るんだろうなと。

ただ出たい人間がチーム組んで出れればそれでいいという問題じゃなくて、これも大人と一緒にのようすにそこへ出てくるのに、やっぱりオール浜田の中で子供たちの夢を平等に引き上げてあげたいなという気持ちは我々もあります。

ただ、現実問題としてじゃあどうしたらどうできるのかというのはいろんな制約があると思うので、そこは各協議会の方々も含めて、子供神楽のお世話をていらっしゃる方もいらっしゃると思うので、そういう方々と、どうやったら子供たちが元気よく舞えるんだろうかという、その辺の話をしっかりと、詰めていった上で、実現をさせていただきたいなと思います。

よろしいですか。

山本委員

久保田会長

山本委員

はいどうぞ。

すいません。

当初ですねこの話が起こった実行委員会、その前にそういった、このような取り組みをするという中で催事については、子供神楽はよろしいと思います。

催事についてはやはりものづくり、神楽面、衣裳また蛇胴等のPRが一番重要じゃないかというような話を聞いておりましたので、ここに15分とありますが、積極的にこのものづくりのところを、7月の29、30、31日ではちょっとやっていただきたいという思いがあります。

子供神楽につきましてはやっぱり、オール浜田というのがちょっとなかなか難しいかなあとは思っております。

ピンポイントで、事務局の方からちょっとあてがうとかですね、すべての団体で行動というのはちょっとなかなかきついと思いますので、その辺ちょっと臨機応変に対応していただければなと思っております。

以上です。

久保田会長

はい。

確認ですけど12ページの予算ところで子供20人掛ける3日間とあるんだけど、この20人の人が3日間ずっとやるのか、或いは、3日間それぞれ別の人のがいれば、60人だよね。どんなイメージですか。

60名の方です。

それぞれ毎日違う方にしていただき、できるだけ多くの方に出ていただきたいと思っているので、この書き方にしております。

最大60名、それぞれ、1泊ぐらいするかもしれないけど、バスで来て、やって帰るということですか。

そうなります。

それを想定しているということですが、60人集まりますか。

久保田会長

石見神楽係長

久保田会長

丸山委員	この神楽団に対して出演意向調査ということがありますけれども、これは子供神楽を持ってない団体すべてに意向調査が行くということですか。
石見神楽係長	はい。 これについてはすべての団体、観光協会入っているとかそういうことではなくて部活動とかも含めてすべての団体、浜田市役所が、把握しているすべての団体に通知を出したいと思っています。
丸山委員	わかりました。
久保田会長	それはいわゆる子供神楽という団体じゃなくても、子供が大人と一緒にやってらっしゃるところもありますよね。中学生高校生が、だからそういう人たちも想定して、全てのところに声かけようというそういう理解でよろしいですか。
石見神楽係長	はい。
久保田会長	おっしゃる通りです。
石見神楽係長	はい。 ちなみにその子供たちが 30 分上演するじゃないですか 40 分かな。せっかくだから、万博を見てみたいと。会場を歩いてみたい。それはできるのですか。
久保田会長	万博内でどのようにスタッフ出演者が活動できるかというのは、現時点私たちも把握できておりません。情報がありませんので、仮に出演者のパスを持っていて、万博会場を歩けるのであれば、それはいいとは思うんですけども、ちょっとそこはわからないですね。 今我々もわからない状況です。
石見神楽係長	はい。 せっかくだから、万博も見て欲しいなっていう気持ちがございます。神楽だけ舞って、45 分で帰ってくるでは、かわいそうかな。
久保田会長	ただそれは、ひょっとしたら別料金、入場し直しなさいという話になるかもしれないんですよね。
石見神楽係長	その可能性は十分にあるというふうに思います。

久保田会長

いうことでちょっとわからんとこでありますけど一応こんな方向でいくということであります。

その他のところ、この方向性でよろしゅうござりますかね。子供神楽をベースに、それから神楽の衣裳、文化、この辺の解説もできればやって欲しいという、そういうふたことでございます。ちょっとそういうことで考えてく

れませんかね。

石見神楽係長

はい。